(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2006-103024
(P2006-103024A)
(43)公開日　平成18年4月20日(2006.4.20)

(51)Int.Cl.		F I		テーマコード（参考）
B42D 1/08 (2006.01)		B42D 1/08	A	
		B42D 1/08	F	
		B42D 1/08	M	

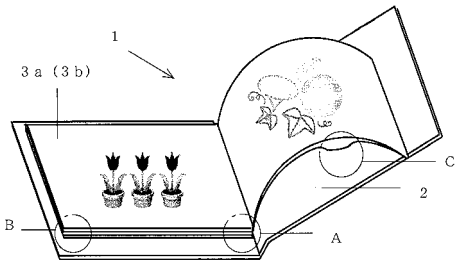
審査請求 未請求　請求項の数 3　ＯＬ　（全 4 頁）

(21)出願番号　特願2004-289673 (P2004-289673)
(22)出願日　平成16年10月1日 (2004.10.1)

(71)出願人　504369650
有限会社京都栄寿堂
京都府京都市左京区黒谷町１６番地
(74)代理人　100098969
弁理士　矢野　正行
(72)発明者　中村　晋
京都府京都市左京区黒谷町１６番地　有限会社京都栄寿堂内

(54)【発明の名称】アルバムとその製造方法

(57)【要約】
【課題】あまり嵩張らず各頁が可撓性を有するアルバムを安価に提供することにある。
【解決手段】表面に画像が形成され、裏面同士が合わせられて一端で綴じられた２枚の印画紙３ａ、３ｂの組を複数個備えているアルバム１において、前記裏面における開き側端部同士が貼り合わせられ、開き側端部と綴じ側端部との中間部が上端から下端に至るまで非接着状態にあることを特徴とし、前記裏面における開き側端部を紙ヤスリで擦り、摺られた開き側端部同士を接着剤を介して貼り合わせることにより製造される。
【選択図】図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
表面に画像が形成され、裏面同士が合わせられて一端で綴じられた２枚の印画紙の組を複数個備えているアルバムにおいて、
前記裏面における開き側端部同士が貼り合わせられ、開き側端部と綴じ側端部との中間部が上端から下端に至るまで非接着状態にあることを特徴とするアルバム。
【請求項２】
更に前記表面とこれに対向する表面との間に合わせられて綴じられた薄紙を備える請求項１に記載のアルバム。
【請求項３】
表面に画像が形成された２枚１組の印画紙の裏面同士を合わせて綴じる方法において、
前記裏面における開き側端部を紙ヤスリで擦り、摺られた開き側端部同士を接着剤を介して貼り合わせるとともに、開き側端部と綴じ側端部との中間部を非接着状態に保っておくことを特徴とするアルバムの製造方法。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
この発明は、印画紙同士が背中合わせで綴じられたアルバムに属する。
【背景技術】
【０００２】
卒業アルバムや婚礼アルバムのように同一のアルバムを複数個製造する場合、従来より台紙の表裏に大判の写真を貼り付ける方法と、印刷による方法とが知られている。前者は画像が印画紙に焼き増されたものであることから、画質に優れる。台紙を必要とするのは、印画紙が現像液や定着液で処理されてもふやけることのないように、裏面にも撥水処理が施されていることから、裏面同士では接着しないことによる。尚、前者において台紙に代えて両面テープを用いる方法も提案されている（特許文献１）。後者は多量に製造することにより、単価を低くすることができる。
【特許文献１】特開２００１－３４１４７９
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００３】
しかし、台紙や両面テープを介して貼り合わせていては、台紙や両面テープの分だけアルバムが厚く嵩張ってしまう。しかも接着強度を確保すべく裏面全体が糊付けされているので、どの頁も腰が強くてめくりにくい。一方、印刷されたものは画質に劣るし、卒業アルバムほどに大量生産を必要としない場合はかえって単価が高くなる。
それ故、この発明の課題は、あまり嵩張らず各頁が可撓性を有するアルバムを安価に提供することにある。
【課題を解決するための手段】
【０００４】
上記課題を解決するために、この発明のアルバムは、
表面に画像が形成され、裏面同士が合わせられて一端で綴じられた２枚の印画紙の組を複数個備えているアルバムにおいて、
前記裏面における開き側端部同士が貼り合わせられ、開き側端部と綴じ側端部との中間部が上端から下端に至るまで非接着状態にあることを特徴とする。
このアルバムによれば、台紙や両面テープのような定形物を介さずに裏面同士が貼り合わせられているので、アルバム全体が嵩張らない。また、中間部が上端から下端に至るまで非接着状態にあるので、容易に撓ることができ、頁をめくりやすい。
【０００５】
上記アルバムにおいて綴じ側端部の裏面も同様に接着する場合、前記開き側端部における糊代が綴じ側端部における糊代よりも大きいと好ましい。綴じ側端部は、綴じる必要上

、ステープラーなどで機械的に固着されたり、裏面だけでなく対向する表面同士及び／又は背表紙を介して綴じ側端縁でも固着されたりするので糊代面積が小さくて足りるのに対して、開き側端部は主に裏面同士で接着される。従って、開き側端部の裏面における糊代面積を相対的に大きくすることで、糊代の合計面積が同じ他の形態のものよりも裏面同士が強く固定されるからである。

更に好ましいのは、前記表面とこれに対向する表面との間に合わせられて綴じられた薄紙を備えるものである。薄紙を備えることで、綴じ側端部は表面同士も薄紙を介して接着することができるし、画像が清浄に保たれるからである。

【０００６】

上記アルバムを製造する適切な方法は、

表面に画像が形成された２枚１組の印画紙の裏面同士を合わせて綴じる方法において、

前記裏面における開き側端部を紙ヤスリで擦り、摺られた開き側端部同士を接着剤を介して貼り合わせるとともに、開き側端部と綴じ側端部との中間部を非接着状態に保っておくことを特徴とする。

紙ヤスリで擦ることにより撥水材料が落とされるか又は摺られた部分の比表面積が増すので、互いに接着可能となる。そして、中間部は摺らずにそのままにしておくことで依然として撥水処理が残り非接着状態が保たれる。

【発明の効果】

【０００７】

印画紙同士が貼り合わせられているので嵩張らず、中間部が非接着状態にあるので各頁が可撓性を有してめくりやすい。しかも現像及び定着を経た印画紙同士を貼り合わせたアルバムであるから、少量生産でも安価に提供することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【０００８】

この発明のアルバムの実施形態を図面と共に説明する。図１は実施形態のアルバムを示す斜視図、図２はアルバムの綴じ側端部（図１のＡ部）における厚み方向断面図、図３は開き側端部（図１のＢ部）における厚み方向断面図である。

アルバム１は、厚紙からなるカバー２と、カバー２の表紙と裏表紙間に綴じられた多数枚の印画紙３ａ、３ｂを備える。印画紙３ａは、撮像が現像され定着された画像面即ち表面がカバー２の表紙側を向いており、印画紙３ｂは、画像面がカバー２の裏表紙側を向いていて、印画紙３ａと印画紙３ｂとが交互に綴じられている。そして、印画紙３ａと印画紙３ｂとは、図２及び図３に示すように綴じ側端部及び開き側端部において裏面同士が接着剤４で接着され、背中合わせで一組となっている。尚、開き側端部における糊代は綴じ側端部におけるよりも大きい。また、印画紙３ａ（又は３ｂ）とこれに対向する次の組の印画紙３ｂ（又は３ａ）との間には薄紙５が挟まれ、綴じ側端部において印画紙３ａ、３ｂと接着剤４で固定されている。薄紙５の開き側端部は自由にされている。

【０００９】

アルバム１は、次のようにして制作される。

現像工程及び定着工程を経た印画紙の裏面における左右端部を紙ヤスリで擦る。但し、左右端部のうち開き側端部となる方を綴じ側端部となる方よりも広く擦っておく。そして、その擦った部分に接着剤を塗布した後、２枚の印画紙の裏面同士を貼り合わせる。別途、薄紙を用意し、その一方の端部における両面に接着剤を塗布し、背中合わせとなった２枚の印画紙の一組の上に載せ、その上にもう一組の印画紙を載せる。こうして印画紙の組と薄紙とを交互に積層し、印画紙及び薄紙の綴じ側端縁をカバーの背表紙に接着剤で固定することにより、アルバム１が完成する。

アルバム１は、印画紙３ａ、３ｂ同士が直接貼り合わせられているので全体として薄い。そして、頁をめくるときは、印画紙３ａと印画紙３ｂの一方が中間部（図１のＣ部）で大きく膨らむことにより、曲率半径の違いを吸収するので、容易に撓ることができ、めくりやすい。

尚、本実施形態では綴じ側端部も接着剤で固着したが、これに代えてあるいはこれとと

もにステープラで機械的に固定してもよい。手間が掛からずに強く固定することができるうえ、綴じ側端部であればステープラの針がカバーで隠れるので外観を損ねないからである。

【図面の簡単な説明】

【００１０】

【図１】実施形態のアルバムを示す斜視図である。

【図２】上記アルバムの綴じ側端部における厚み方向断面図である。

【図３】同じく開き側端部における厚み方向断面図である。

【符号の説明】

【００１１】

１　アルバム

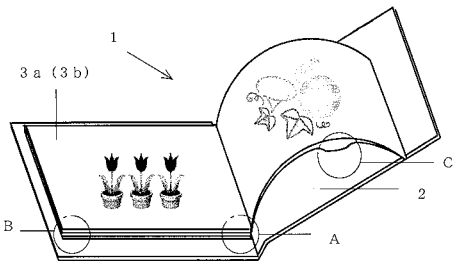
２　カバー

３ａ、３ｂ　印画紙

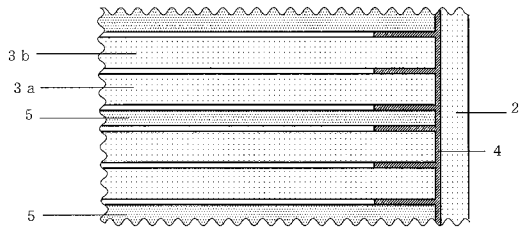
４　接着剤

５　薄紙

【図１】



【図２】



【図３】

